

# 心療内科医のびとり言

中野弘一 医師

40歳になる、がつしうだ。すぐに脳の画像撮影と採血が行われた。これまでに大きな病気をしたことはない。心療内科へはストレスによる頭痛の相談である。

急に激しい頭痛に襲われ、危ない症状と考え、緊急脳外科を受診した。今まで経験したことのない突然起る激しい症状は危ないと介護の仕事をしている妻に聞いて受診したよ

## 頭痛発作 危険のサイン



私の治療のため、今回心療内科を受診しに来たと経緯を教えてくださいました。

私は頭痛の変化の様子を問診した。「何度か頭痛が繰り返され、頭痛が起きると吐き気がひどくなる。これから頭痛がきつそうな予感のようなものがあり、

私の治療のため、今回心療内科を受診しに来たと経緯を教えてくださいました。

私は頭痛の変化の様子を問診した。「何度か頭痛が繰り返され、頭痛が起きると吐き気がひどくなる。これから頭痛がきつそうな予感のようなものがあり、

彼の仕事は自動車の輸出を担当していて、最近、為替が不安定で、臨時の会議が多く、好きなゴルフもままならない状況のようだった。脳外科の医師は脳の病気でなく、ストレスに連関した頭痛ではないかと指摘した。ボ予備軍と診断され、精神的ストレスありと評価されていた。血圧もやや高く肩凝りも強いられた。片頭痛の発作が起る前に出現する、特徴的な前兆症状である可

いので見立てにくい病気の一つである。最近、片頭痛の血管の拡張を抑制する薬が作られ、鎮痛薬による効果より勝る成績が確認された。早速、片頭痛治療薬で治療を開始することにした。併せてストレスによる食習慣と考えられる体重増加や高脂血症も、3回の食事を調整していくこととした。頭痛発作が生活習慣病へ向かう危険を知らせて、進行を押しとどめてくれるのである。一病息災と頭痛発作に感謝した。(三愛病院心療内科 医師・東邦大学医学部教授)